



事業No	実施計画に係る事業名	担当部署	今後の進め方【ACTION】	
(1)	安全・防災メール発信事業（再掲）	市民協働課	安全・防災メールの登録者数は増加しており、登録者数の増加は犯罪抑止へと繋がります。今後も引き続き、現体制を維持しながら、安全・防災メール登録者数の増加のため、周知活動に注力します。	現状維持
(2-1)	LED防犯灯設置事業	市民協働課	引き続き地元要望を聞きながら、市民の安全を確保するために必要な防犯灯設置を進めていきます。	現状維持
(2-2)	防犯設備整備事業	市民協働課	駐輪場や公園や駅周辺などの公共空間への防犯カメラの設置は、目標値を達成していることから、今後は防犯カメラ新規設置の必要性を協議し、必要性があると判断した場合は設置を行います。	現状維持
(2-3)	防犯設備整備費補助事業	市民協働課	犯罪を未然に防ぐため、地域に対し防犯意識の向上を働きかけるとともに、防犯カメラに対する補助制度について今後も広く周知に努める必要があります。	現状維持
(4)	コミュニティバス運行事業	市民協働課	令和3年3月に改訂した弥富市地域公共交通計画に沿って、地域特性や利用特性に応じた使いやすい地域公共交通網の形成のため、地域の意見を聞きながら、順次各ルートの公共交通網再編を行います。令和5年度にはデマンド型乗合交通が受け入れられるのか、実験運行を行い検証していきます。	改善
<b>施策の今後の方針</b> <b>【ACTION】</b>		いつまでも住み続けたい安全・安心なまちづくりのため、安全・防犯メールを有効に活用するとともに、行政・地域・警察が連携して、防犯活動を行います。引き続き、防犯灯のLED化や防犯カメラ設置への補助を実施していきます。また、地域公共交通網形成のため、デマンド型乗合交通の実験運転を検証し、公共交通網再編を行います。		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(1)	安全・防災メール発信事業（再掲）	市民協働課	交通防犯グループ	令和5年7月14日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	1	【生活環境】いつまでも住み続けたい安全・安心なまち	重点施策
	施策目標	3	防犯・交通安全対策の推進	
	主要施策	1	防犯に関する啓発等の推進と自主防犯活動の推進	
	主要事業		安全・防災メール発信事業（再掲）	
SDGs 連携分野	目標16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	防犯に関する注意喚起メールを広く配信することにより、市民の犯罪に対する意識を高めることで、地域における犯罪抑止を目的とします。					主な協働・関連団体等	
事業概要	安全メール登録者に対して、警察署などからの注意喚起情報を一斉送信します。					関連する個別計画・根拠法令等	弥富市安全なまちづくり条例
事業の開始・終了	開始年度	平成22	年度	終了年度	令和10	年度	

**■事業費(単位:千円)【DO】**

事業内訳	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(1) 安全・防災メールの登録者数	人	4,100	4,034	4,487	5,021	5,285		4,600	4,800

指標の分析 安全・防災メールの登録者数は順調に増加しています。

**■事業の評価【CHECK】**

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民のために効果的なものであり、求められているか</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要であるか</li> </ul>	愛知県内では特殊詐欺の被害額が年々増加しております。特殊詐欺の前兆電話に関する情報やその他の犯罪情報を安全・防災メールで配信することで市民の犯罪に対する防犯意識を高めることにより地域における犯罪抑止に繋がります。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年に比べてどのように工夫したのか</li> <li>コストの削減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性</li> </ul>	迅速に安全・防災メールを配信できるよう、関係部署間での連携方法や配信基準などを再度確認しました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市・住民・団体が誰が実施するのが良いか</li> </ul>	認知症の方などの行方不明者捜索情報や犯罪発生に係る情報の安全・防災メールによる配信は、警察などの関係機関との連携が必要であり、市が実施する必要があります。
施策への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果</li> </ul>	安全・防災メールによる犯罪情報等の市民への周知は、総合計画における防犯・交通安全対策の推進を図るために必要な事業であり、防犯体制の強化に繋がります。

**■今後の進め方【ACTION】**

課長意見	方向性
安全・防災メールの登録者数は増加しており、登録者数の増加は犯罪抑止へと繋がります。今後も引き続き、現体制を維持しながら、安全・防災メール登録者数の増加のため、周知活動に注力します。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2-1)	LED防犯灯設置事業	市民協働課	交通防犯グループ	令和5年7月14日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	1	【生活環境】いつまでも住み続けたい安全・安心なまち	重点施策
	施策目標	3	防犯・交通安全対策の推進	
	主要施策	2	防犯環境の整備	
	主要事業		LED防犯灯設置事業	
SDGs 連携分野	目標16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	LED防犯灯を設置することで、温室効果ガス排出量削減及び一定の明るさ確保による夜間における通行の安全と犯罪を未然に防止（抑止）することを目的とします。					主な協働・ 関連団体等
事業概要	各区長補助員より設置希望申請書を9月末を提出期限として提出してもらい、設置基準に基づいて順次LED防犯灯を設置します。					
関連する 個別計画・ 根拠法令等						
事業の開始・ 終了	開始年度	平成27	年度	終了年度	令和10	年度

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
電気料		11,717	電気料	10,200	電気料	10,400	電気料	10,600
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
LED防犯灯借上料		9,191	LED防犯灯借上料	9,464	LED防犯灯借上料	9,800	LED防犯灯借上料	10,100
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
防犯灯工事費請負		668	防犯灯工事費請負	1,000	防犯灯工事費請負	1,000	防犯灯工事費請負	1,000
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
LED防犯灯維持管理委託料		81	LED防犯灯維持管理委託料	81	LED防犯灯維持管理委託料	81	LED防犯灯維持管理委託料	81
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)			(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合計		21,657	合計	20,745	合計	21,281	合計	21,781
(補助額)		0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(2) LED防犯灯の設置数	基	5,570	5,716	5,753	5,834	5,884		6,000	6,500

指標の分析 LED防犯灯の新規設置数は、平成28年3月の一括リース開始以降、1年あたり35~106灯の幅で推移しています。令和3年度から行き止まり道路について、防犯灯設置基準の緩和を行いました。防犯灯新規設置数は、令和3年度81灯、令和4年度50灯と、緩和前の新規設置数と同程度となっています。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民のために効果的なものであり、求められているか</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要であるか</li> </ul>	温室効果ガスの排出量削減及び一定の明るさ確保による犯罪等抑止のため、LED防犯灯の設置が必要です。各区長・区長補助員からの防犯灯新規設置申請に基づき、LED防犯灯設置の必要性を判断しています。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年に比べてどのように工夫したのか</li> <li>コストの削減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性</li> </ul>	平成28年3月より、防犯灯をLED化するとともに、地元管理の防犯灯に対する補助金の交付から、一括リース契約による市管理に切り替えることにより、令和3年度時点では従前より約9%の費用削減(平成26年度→令和3年度)に繋がっていますが、令和4年度は電気料が高騰し、防犯灯を地元で管理していた平成26年度並みの費用となっています。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市・住民・団体が誰が実施するのが良いか</li> </ul>	以前は防犯灯を地元管理としていましたが、一括リース契約を契機に、市が一括で管理することで、市内全域における計画的な維持管理が可能となりました。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果</li> </ul>	LED防犯灯を設置することは、総合計画における防犯・交通安全対策の推進を図るために必要な事業であり、防犯体制の強化に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
引き続き地元要望を聞きながら、市民の安全を確保するために必要な防犯灯設置を進めていきます。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2-2)	防犯設備整備事業	市民協働課	交通防犯グループ	令和5年7月14日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	1	【生活環境】いつまでも住み続けたい安全・安心なまち	重点施策
	施策目標	3	防犯・交通安全対策の推進	
	主要施策	2	防犯環境の整備	
	主要事業		防犯設備整備事業	
SDGs 連携分野	目標16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	公共空間へ防犯カメラを設置することで、証拠映像、犯罪の抑止を目的とします。					主な協働・ 関連団体等	
事業概要	駐輪場や公園や駅周辺の必要な箇所に防犯カメラを設置します。また、防犯カメラの修繕や維持管理を行います。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	弥富市安全なまちづくり条例
事業の開始・ 終了	開始年度	平成22	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)[DO]										
事業内訳	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	防犯設備用看板	9	防犯設備用看板	20	防犯設備用看板	20	防犯設備用看板	20		20
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	防犯カメラ修繕料	1,031	防犯カメラ修繕料	1,206	防犯カメラ修繕料	1,206	防犯カメラ修繕料	1,206		1,206
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
合計	1,040	合計	1,226	合計	1,226	合計	1,226	1,226		
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	0		
成果指標			単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)
					令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(2) 防犯カメラ設置台数			台	33	38	38	38	38	37	37
指標の分析	市が駐輪場や公園や駅周辺などの公共空間に設置する防犯カメラは、2023年度の目標値(37基)をすでに達成しており、現状では必要に応じて設置を検討しています。									
■事業の評価【CHECK】										
項目	評価視点				評価の結果					
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民のために効果的なものであり、求められているか</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要であるか</li> </ul>				市が、駐輪場や公園や駅周辺などの公共空間に設置し管理する防犯カメラは、市民等の権利利益を保護するとともに、市内における犯罪及び事故を未然に防止し、安全で安心して暮らすことができるまちづくりに寄与します。					
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年に比べてどのように工夫したのか</li> <li>コストの削減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性</li> </ul>				市が駐輪場や公園や駅周辺などの公共空間に設置する防犯カメラについて、定期的に職員により録画状況等をチェックし、保守点検を行っています。					
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市・住民・団体が誰が実施するのが良いか</li> </ul>				駐輪場や公園や駅周辺などの公共空間への防犯カメラの設置は平成22年より市が行っており、地域の集会場や神社などへの防犯カメラの設置については、平成27年より、市は補助金(防犯設備整備費補助金)を交付しています。					
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果</li> </ul>				駐輪場や公園や駅周辺などの公共空間への防犯カメラの設置は、総合計画における防犯・交通安全対策の推進を図るために必要な事業であり、防犯体制の強化に繋がります。					
■今後の進め方【ACTION】										
課長意見								方向性		
駐輪場や公園や駅周辺などの公共空間への防犯カメラの設置は、目標値を達成していることから、今後は防犯カメラ新規設置の必要性を協議し、必要性があると判断した場合は設置を行います。								現状維持		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2-3)	防犯設備整備費補助事業	市民協働課	交通防犯グループ	令和5年7月14日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	1	【生活環境】いつまでも住み続けたい安全・安心なまち	重点施策
	施策目標	3	防犯・交通安全対策の推進	
	主要施策	2	防犯環境の整備	
	主要事業		防犯設備整備費補助事業	
SDGs 連携分野	目標16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	地元からの設置要望に基づき、集会場や神社などへ防犯カメラを設置することで地域防犯の意識をあげ、さらに証拠映像、犯罪の抑止を目的とします。					主な協働・ 関連団体等	自治会・町内会
事業概要	新たに防犯カメラを設置する行政区を対象に、50万円を限度とし、対象経費の2分の1を補助金として交付します。						関連する 個別計画・ 根拠法令等
事業の開始・ 終了	開始年度	平成26	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)[DO]											
事業内訳	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)				
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)			
	防犯設備整備費補助金	1,522	防犯設備整備費補助金	1,000	防犯設備整備費補助金	1,000	防犯設備整備費補助金	1,000			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
	合計	1,522	合計	1,000	合計	1,000	合計	1,000			
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0				
成果指標			単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
					令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
指標の分析											
■事業の評価【CHECK】											
項目	評価視点					評価の結果					
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民のために効果的なものであり、求められているか</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要であるか</li> </ul>					防犯カメラは、市民等の権利利益を保護するとともに、市内における犯罪及び事故を未然に防止し、安全で安心して暮らすことができるまちづくりに寄与することから必要性が高まっています。					
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年に比べてどのように工夫したのか</li> <li>コストの削減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性</li> </ul>					警察署による地区に対しての防犯診断を行うことにより、防犯カメラを犯罪抑止効果が高い所へ設置することができました。令和4年度は4地区に対して防犯カメラ設置補助を実施しました。					
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市・住民・団体が誰が実施するのが良いか</li> </ul>					駐輪場や公園や駅周辺などの公共空間への防犯カメラは市が設置し、地域の集会場や神社などへの防犯カメラは地域が設置します。					
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果</li> </ul>					防犯カメラを新たに設置する地域に対する補助は、総合計画における防犯・交通安全対策の推進を図るために必要な事業であり、防犯体制の強化に繋がります。					
■今後の進め方【ACTION】											
課長意見								方向性			
犯罪を未然に防ぐため、地域に対し防犯意識の向上を働きかけるとともに、防犯カメラに対する補助制度について今後も広く周知に努める必要があります。								現状維持			

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(4)	コミュニティバス運行事業	市民協働課	交通防犯グループ	令和5年7月14日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	1	【生活環境】いつまでも住み続けたい安全・安心なまち	重点施策
	施策目標	3	防犯・交通安全対策の推進	
	主要施策	4	コミュニティバスの利便性向上	
	主要事業		コミュニティバス運行事業	
<p>目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p> <p>目標9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p> <p>目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>				
SDGs 連携分野				
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	通学・通勤から通院や買い物など、市民生活利便性の向上や高齢者を始めとする交通弱者の移動手段を確保します。					主な協働・ 関連団体等	弥富市地域公共交通活性化協議会
事業概要	設定した3ルートにおいて、きんちゃんバスを運行します。 ・北部ルート2台 ・南部ルート2台 ・東部ルート1台					関連する 個別計画・ 根拠法令等	弥富市地域公共交通計画
事業の開始・ 終了	開始年度	平成24	年度	終了年度	令和10	年度	

**■事業費(単位:千円)[DO]**

	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
事業内訳	弥富市地域公共交通活性化協議会負担金	113,083	弥富市地域公共交通活性化協議会負担金	119,970	弥富市地域公共交通活性化協議会負担金	119,970	弥富市地域公共交通活性化協議会負担金	119,970
	(補助額)	5,914	(補助額)	8,018	(補助額)	8,018	(補助額)	8,018
	飛島公共交通バス運行費負担金	1,000	飛島公共交通バス運行費負担金	1,000	飛島公共交通バス運行費負担金	1,000	飛島公共交通バス運行費負担金	1,000
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	弥富市地域公共交通活性化協議会委員報償費	195	弥富市地域公共交通活性化協議会委員報償費	300	弥富市地域公共交通活性化協議会委員報償費	300	弥富市地域公共交通活性化協議会委員報償費	300
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	その他(役務費等)	79	その他(役務費等)	93	その他(役務費等)	93	その他(役務費等)	93
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
<b>合計</b>	114,357	<b>合計</b>	121,363	<b>合計</b>	121,363	<b>合計</b>	121,363	
(補助額)	5,914	(補助額)	8,018	(補助額)	8,018	(補助額)	8,018	

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度

指標の分析

**■事業の評価[CHECK]**

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民のために効果的なものであり、求められているか</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要であるか</li> </ul>	通学・通勤・通院・買物などの市民生活の移動手段の確保及び公共交通空白地域の解消のため、公共交通としてコミュニティバスは必要です。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年に比べてどのように工夫したのか</li> <li>コストの削減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性</li> </ul>	弥富市地域公共交通計画に基づき、公共交通網再編を意見交換会を開催しながら実施しています。南部地域では、新しい公共交通のデマンド型乗合交通の導入について、各地区の意見を聞き、令和4年度に社会実験運行を実施するための説明会を実施しました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市・住民・団体が誰が実施するのが良いか</li> </ul>	コミュニティバスをはじめとした公共交通は、第2次弥富市総合計画、弥富市都市計画マスタープラン、弥富市立地適正化計画、弥富市総合交通戦略などの関連計画を踏まえ実施することが必要となり、市が地域の意見を聞きながら市全体における計画的な実施が必要となります。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果</li> </ul>	コミュニティバスを始めとした地域公共交通は、総合計画における防犯・交通安全対策の推進を図るために必要な事業です。

**■今後の進め方[ACTION]**

課長意見	方向性
令和3年3月に改訂した弥富市地域公共交通計画に沿って、地域特性や利用特性に応じた使いやすい地域公共交通網の形成のため、地域の意見を聞きながら、順次各ルートの公共交通網再編を行います。令和5年度にはデマンド型乗合交通が受け入れられるのか、実験運行を行い検証していきます。	改善